

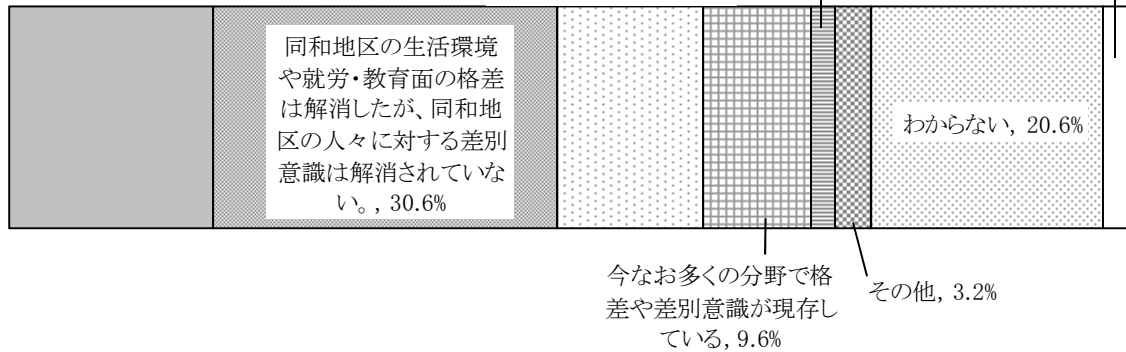
問 12 部落差別の現状についてあなたはどのように考えていますか。次の中から最もあなたの考えに近いものをお答えください。(○は1つだけ)

同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている。、
18.2%

同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない、
13.0%

もともと格差や差別は存在しない、
2.2%

無回答、
2.6%



■部落差別の現状の認識については、「同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消したが、同和地区の人々に対する差別意識は解消されていない」(30.6%)と最多。次いで「わからない」(20.6%)、「同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている」(18.2%)、「同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは解消されていない」(13.0%)となっている。

【参考】

前回調査 (H17 鳥取県人権意識調査)

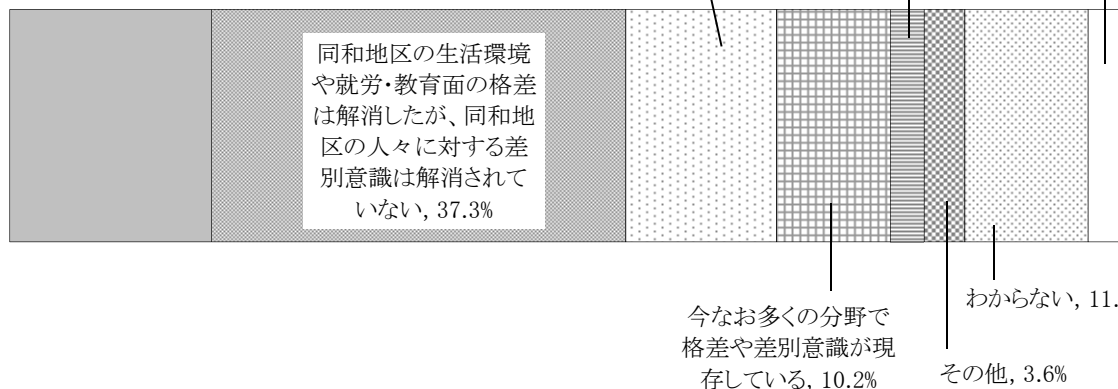
問 11 部落差別の現状についてあなたはどのように考えていますか。次の中から最もあなたの考えに近いものをお答えください。(○は1つだけ)

同和地区の生活環境や就労・教育面の格差は解消され、同和地区の人々に対する差別意識は解消されている、
18.1%

同和地区の生活環境はおおむね改善されたが、就労面や教育面などの格差や同和地区の人々に対する差別意識などは改善されていない、
13.5%

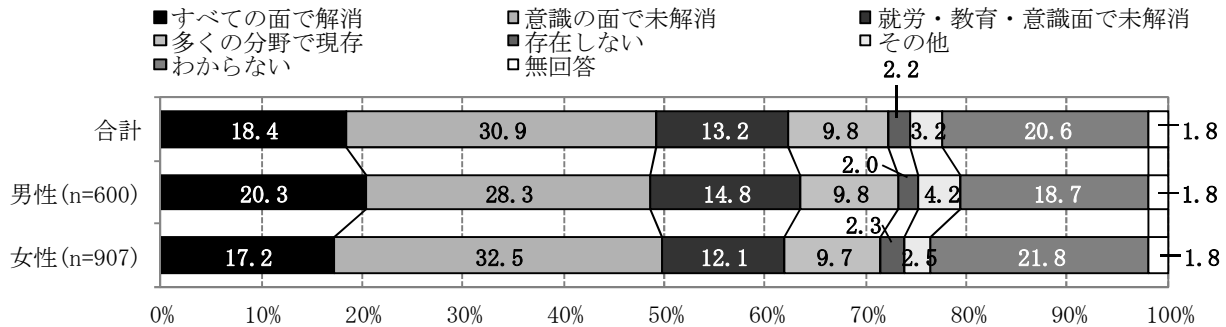
もともと格差や差別は存在しない、
3.0%

無回答、
3.1%



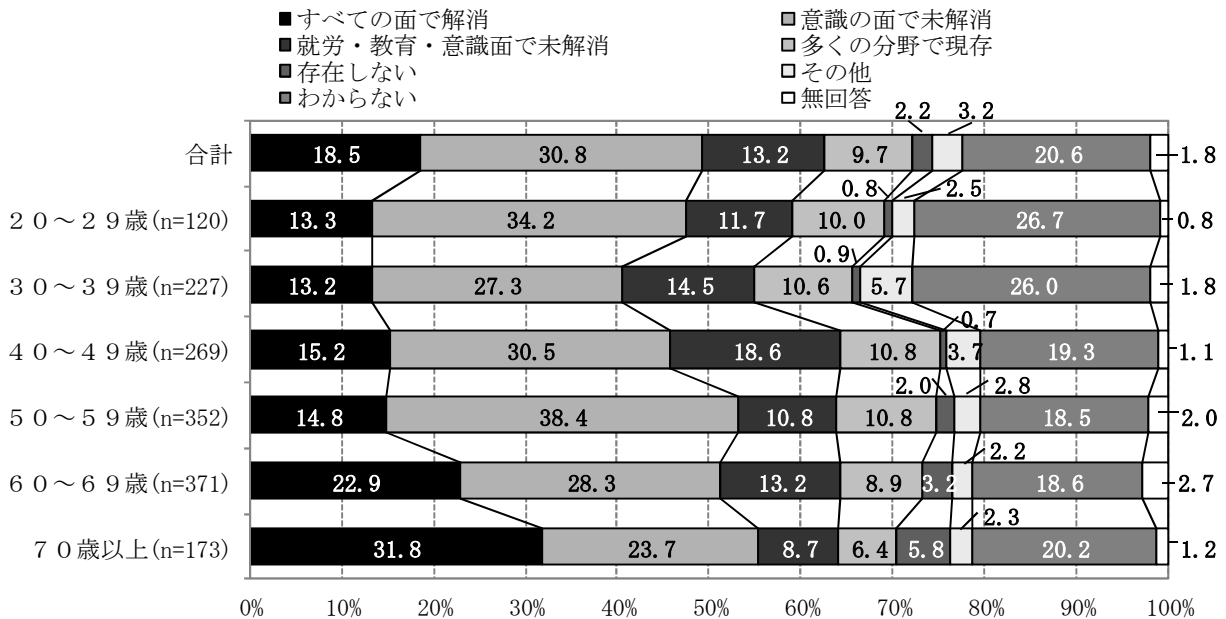
【性別・年齢との関係】

[図 12-1] 問 12 部落差別の現状についてどう思うか と 性別 の関係



性別で見ると、「すべての面で解消」と回答した人は、男性 20.3%、女性 17.2%。「意識の面で未解消」と回答した人は、男性 28.3%、女性 32.5%。「就労・教育・意識面で未解消」と回答した人は、男性 14.8%、女性 12.1%。また、「わからない」と回答した人は男性 18.7%、女性 21.8%となっている。

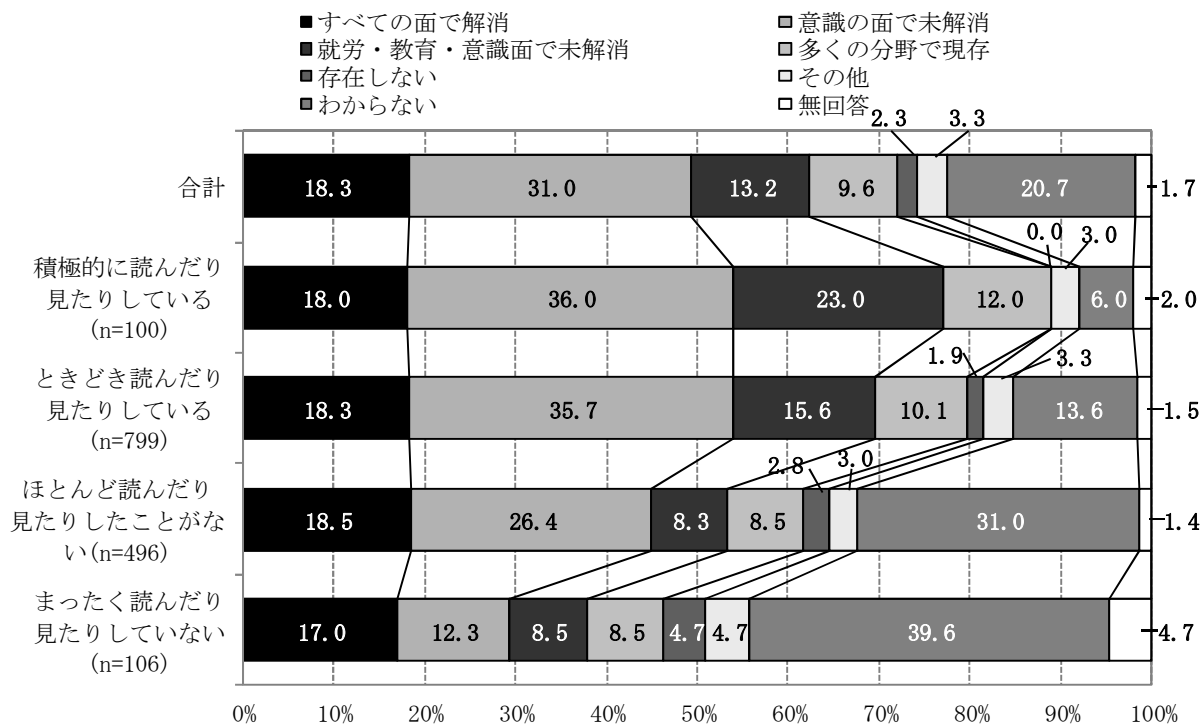
[図 12-2] 問 12 部落差別の現状についてどう思うか と 年齢 の関係



年齢別で見ると、20歳代、40歳代、50歳代で3割以上の方が「意識の面で未解消」と回答している。また、70歳代の方は「すべての面で解消」と回答した人が3割以上となっている。

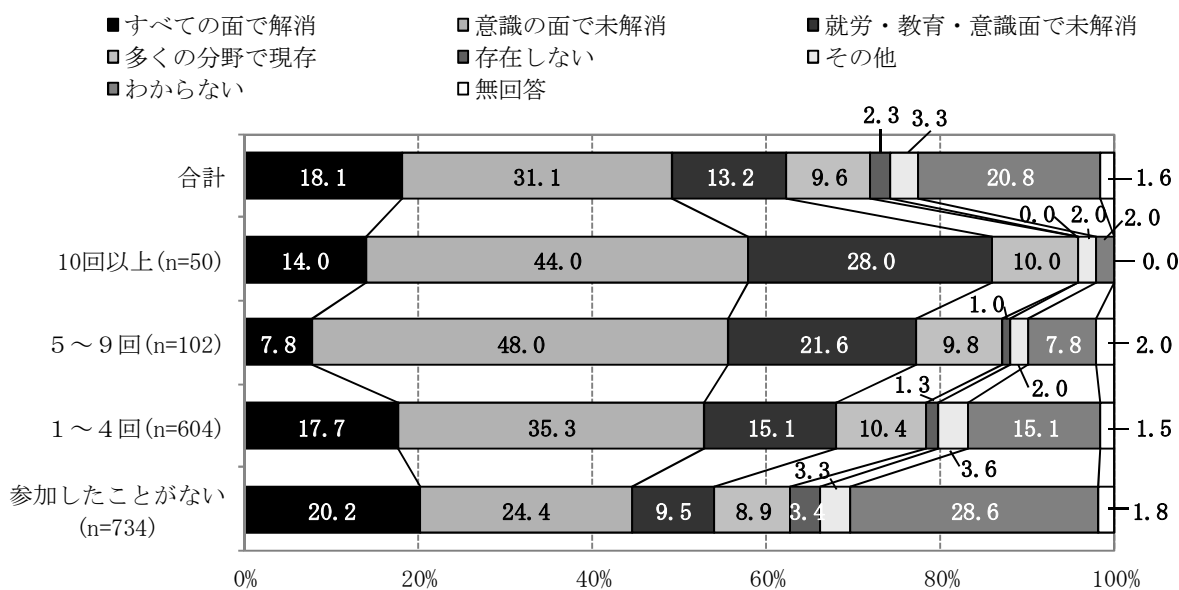
【他の設問との関係】

[図 12-3] 問 8-① 啓発物に触れた経験 と問 12 部落差別の現状についてどう思うか の関係



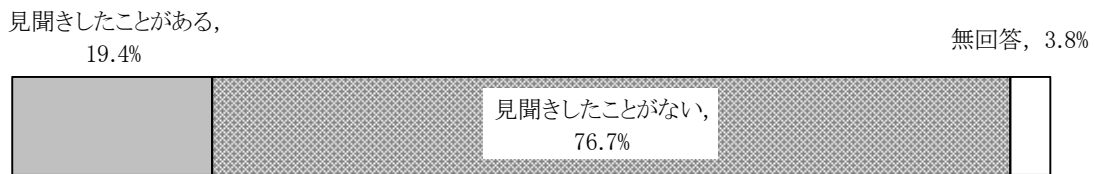
問 8-①（啓発物を読んだり見たりした経験があるか）との関係でみると、頻繁に読んだり見たりしている人ほど、「意識の面で未解消」と「就労・教育・意識の面で未解消」という回答の割合が高い。

[図 12-4] 問 9-① 研修会等への参加回数 と問 12 部落差別の現状についてどう思うか の関係



問 9-①（研修会等への参加回数）との関係でみると、研修会への参加回数が多いほど、未解消（「意識の面で未解消」、「就労・教育・意識面で未解消」）という回答の割合が高い。

問 13-① あなたは、ここ5年間で同和地区の人々に対する差別的な発言や行動を直接見聞きしたことはありますか。(〇は1つだけ)

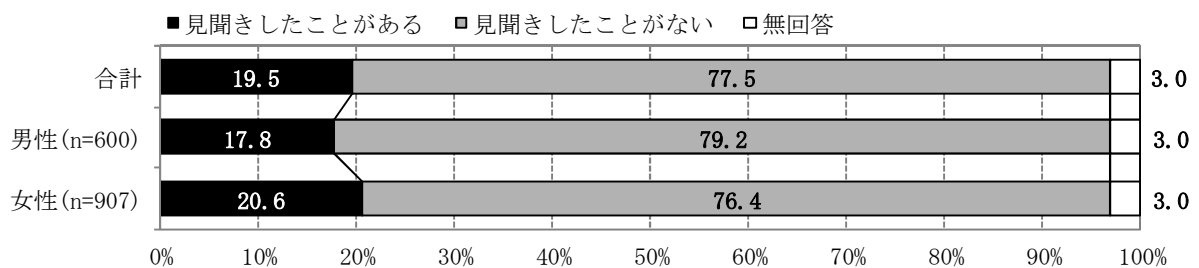


■部落差別について、ここ5年間で差別的な発言や行動を直接見聞きしたかどうかについて、「見聞きしたことがある」が19.4%と約2割の人が見聞きしたことがあると答えた。また、「見聞きしたことがない」と答えた人は76.7%だった。

※前回調査なし

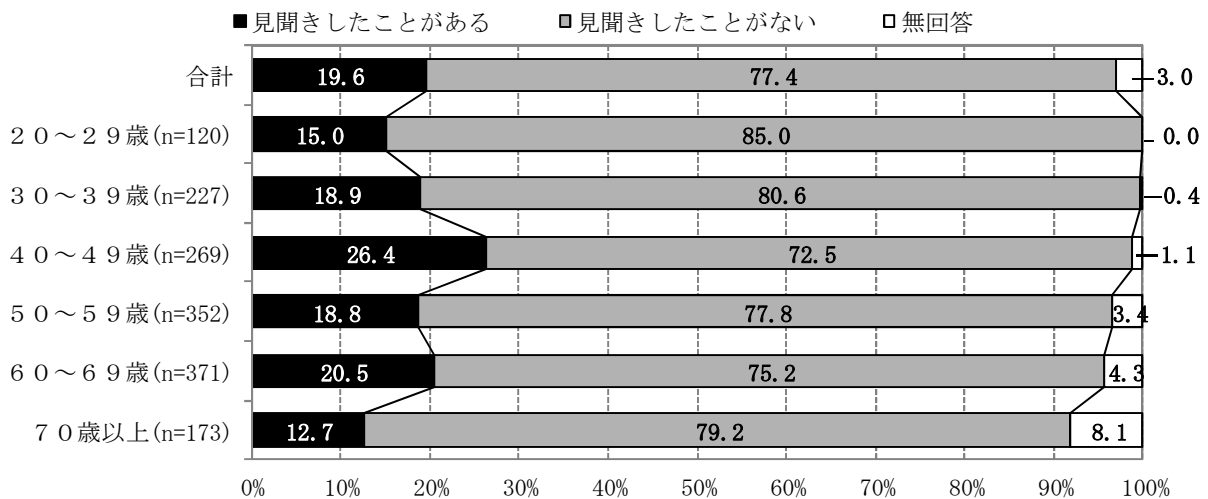
【性別・年齢との関係】

[図 13-1] 問 13-① 部落差別についての見聞きと 性別 の関係



性別でみると、「見聞きしたことがある」と回答した人は、男性では17.8%、女性では20.6%。「見聞きしたことがない」と回答した人は、男性では79.2%、女性では76.4%となっている。

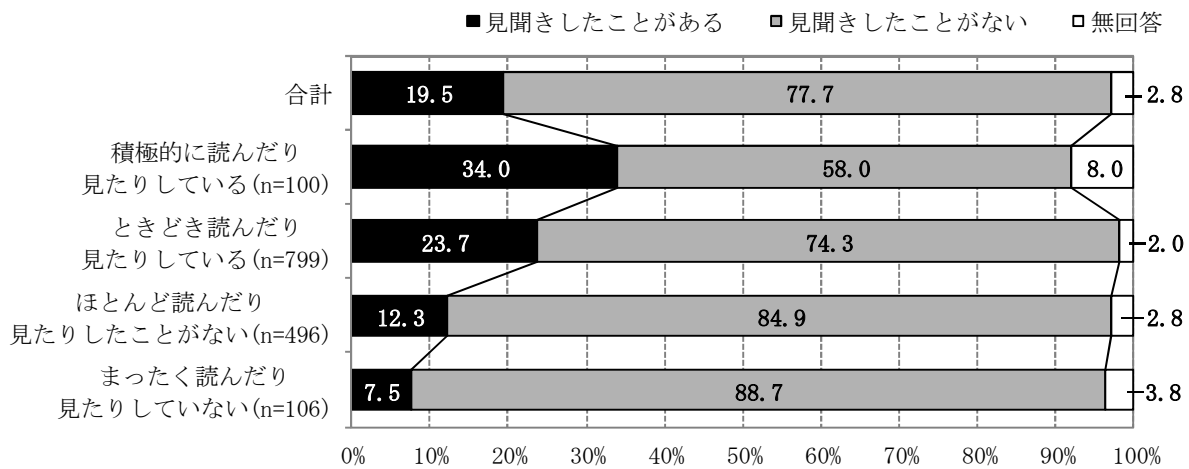
[図 13-2] 問 13-① 部落差別についての見聞きと 年齢 の関係



年齢別でみると、40歳代、60歳代で「見聞きしたことがある」と回答した人が2割を超えている。また、「見聞きしたことがない」と回答した人は20歳代、30歳代で8割を超えている。

【他の設問との関係】

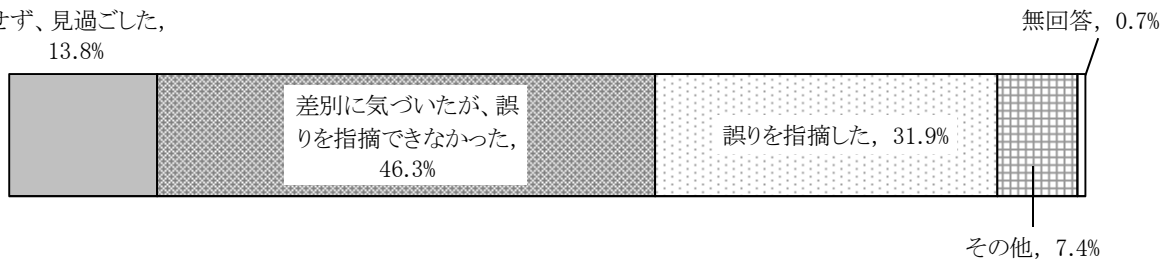
[図 13-3] 問 8-① 啓発物に触れた経験 と 問 13-① 部落差別についての見聞きとの関係



問 8-① (啓発物を読んだり見たりした経験がある) との関係でみると、「積極的に読んだり見たりしている」と回答した人3割以上の人が見聞きしたことがあると回答しているのに対し、「まったく読んだり見たりしていない」と回答した人は1割程度となっている。

問 13-② 問 13-①で「見聞きしたことがある」を選択された方におたずねします。
その時、あなたはどうしましたか。(〇は1つだけ)

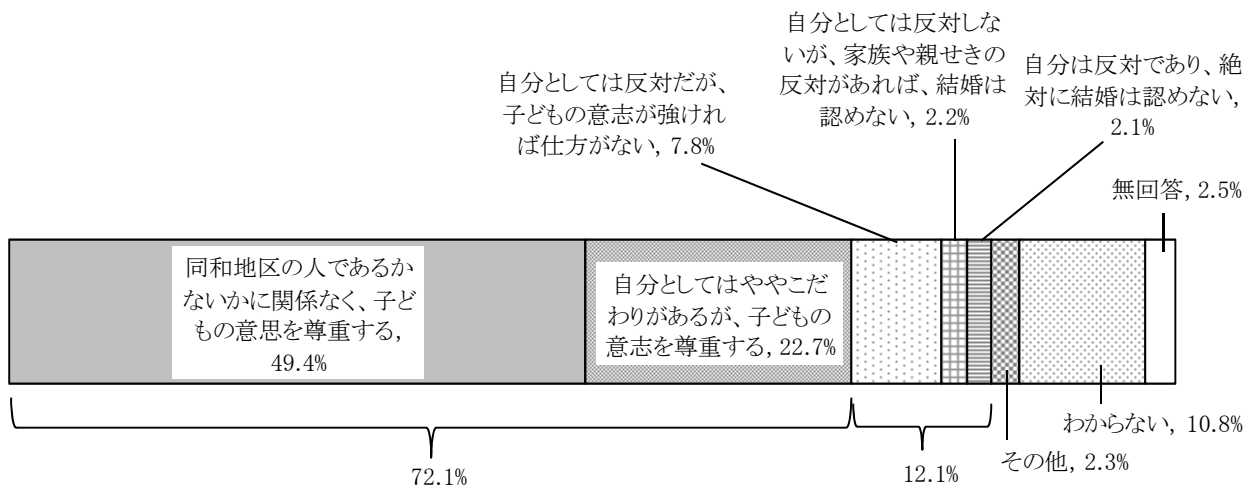
そのときは差別と意識
せず、見過ごした、
13.8%



■問 13-①で「見聞きしたことがある」と答えた人のその時の行動について、「そのときは差別と意識せず、見過ごした」人が13.8%。「差別に気づいたが、誤りを指摘できなかった」(46.3%)となっている。しかし、「誤りを指摘した」と答えた人は31.9%と3割の方が誤りを指摘している。

※前回調査なし

問 14 あなたに未婚のお子さんがあると仮定して、そのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。(〇は1つだけ)



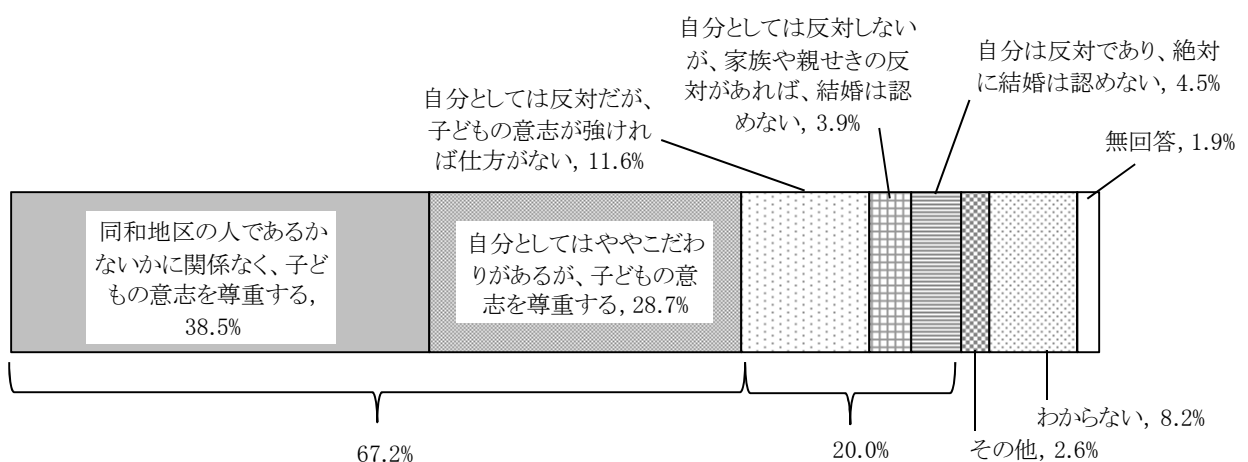
■同和地区出身者との結婚について、「同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」(49.4%)が最多。次いで「自分としてはややこだわりがあるが、子どもの意思を尊重する」(22.7%)など、結婚に肯定的な意見は72.1%を占める。

一方「自分としては反対だが、子どもの意思が強ければ仕方がない」(7.8%)、「自分としては反対しないが、家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない」(2.2%)、「自分は反対であり、絶対に結婚は認めない」(2.1%)など、結婚に否定的な意見は12.1%。

【参考】

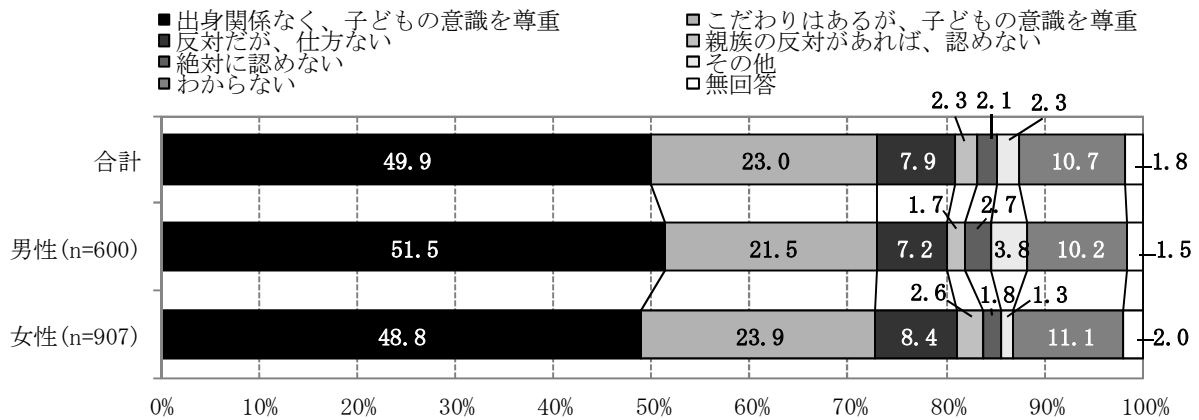
前回調査 (H17 鳥取県人権意識調査)

問 12 あなたは未婚のお子さんがあると仮定して、そのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。(〇は1つだけ)



【性別・年齢との関係】

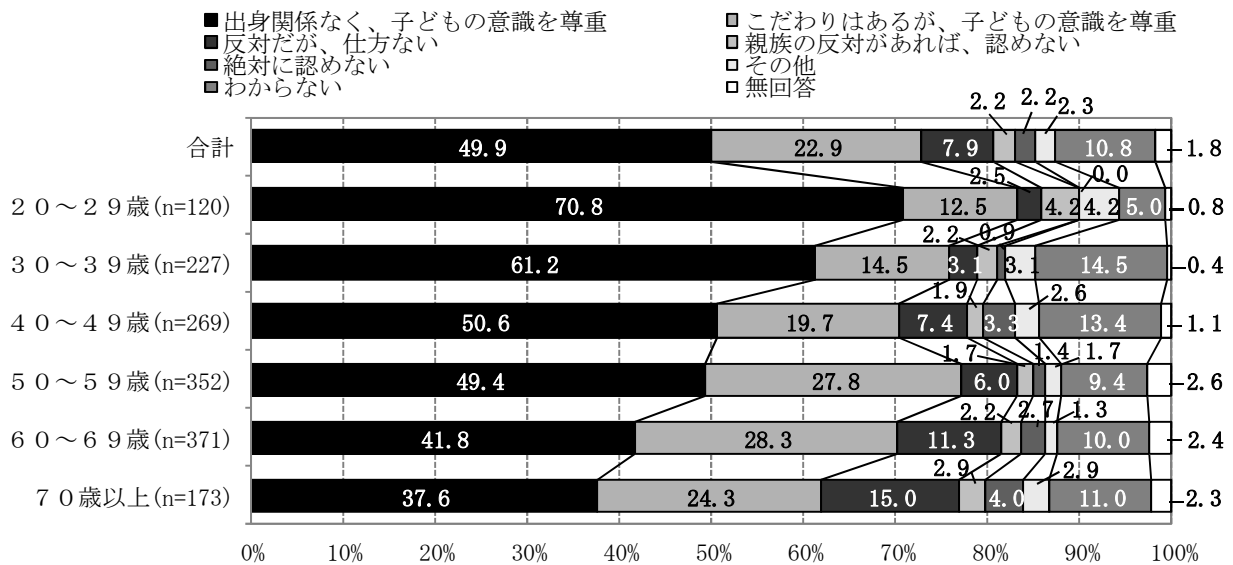
[図 14-1] 問 14-① 同和地区出身者との結婚 と 性別 の関係



性別でみると、「出身関係なく、子どもの意識を尊重」（男性 51.5%、女性 48.8%）、「こだわりはあるが、子どもの意思を尊重」（男性 21.5%、女性 23.9%）となっている。

また、「反対だが仕方ない」（男性 7.2%、女性 8.4%）、「親族の反対があれば、認めない」（男性 1.7%、女性 2.6%）、「絶対に認めない」（男性 2.7%、女性 1.8%）となっている。

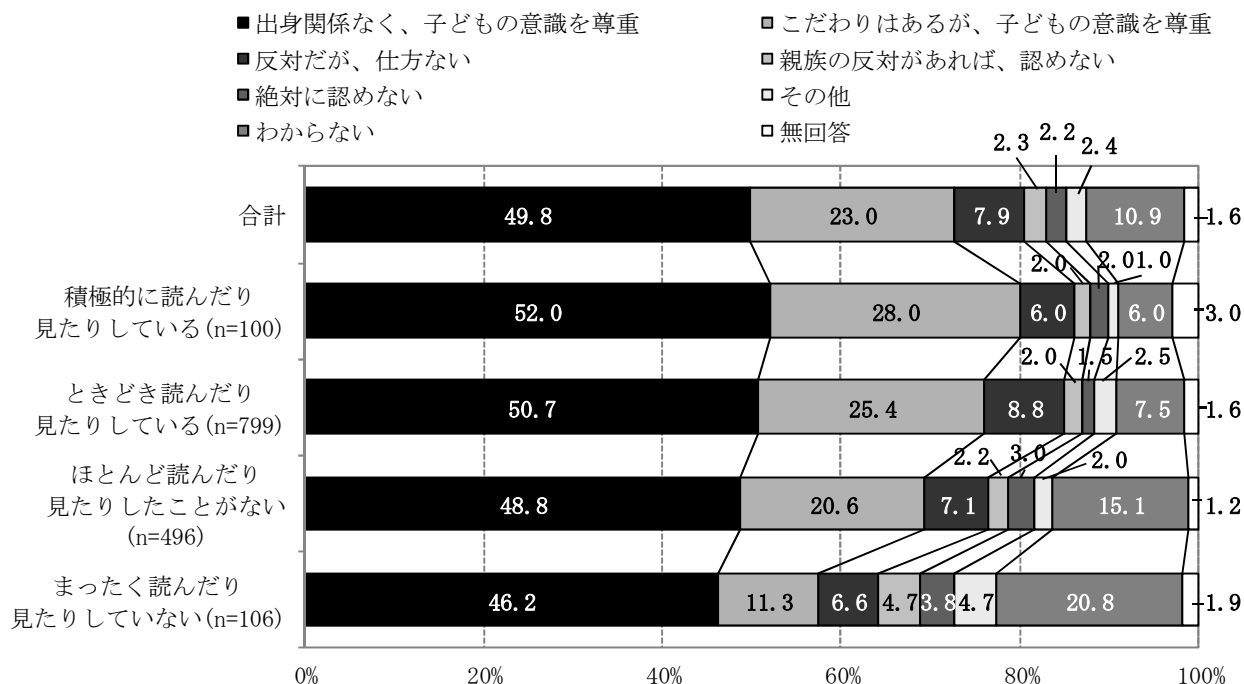
[図 14-2] 問 14-①結婚問題に対するあなたの対応と 年齢 の関係



年齢別でみると、「出身関係なく、子どもの意思を尊重」と回答した人は 20 歳代（70.8%）、30 歳代（61.7%）、40 歳代（50.6%）、50 歳代（49.4%）、60 歳代が（41.8%）、70 歳以上が（37.6%）年代が高くなるにつれて低くなっている。また、「こだわりはあるが、子供の意識をを尊重」、「反対だが、仕方ない」、「絶対に認めない」は年代が高くなるにつれて高くなる傾向にある。

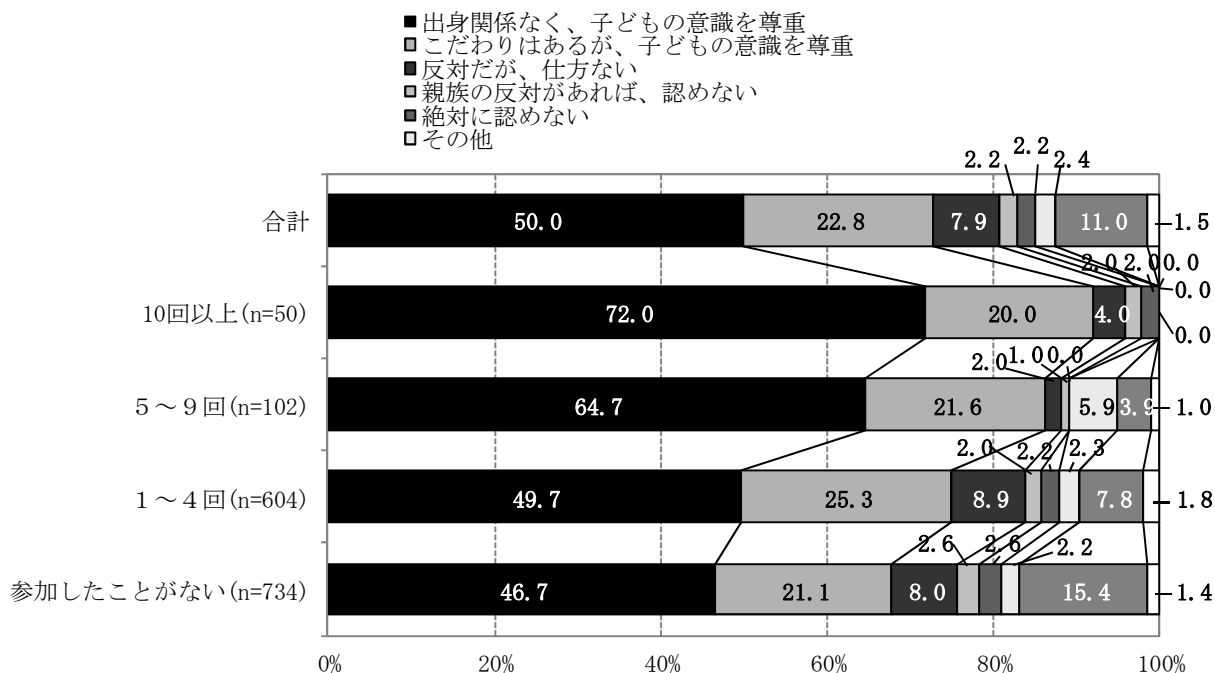
【他の設問との関係】

〔図 14-3〕 問 8-① 啓発物に触れた経験 と 問 14-① 結婚問題に対するあなたの対応 の関係



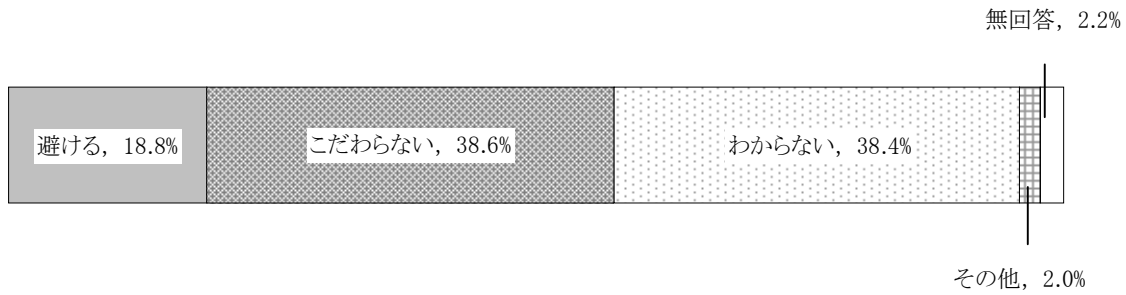
問 8-①（啓発物を読んだり見たりした経験があるか）との関係でみると、啓発物を読んだり見たりしている人ほど「子どもの意見を尊重」という回答の割合が高くなっている。

〔図 14-4〕 問 9-① 研修会等への参加回数 と 問 14-① 結婚問題に対するあなたの対応 の関係



問 9-①（研修会等への参加回数）との関係でみると、研修会の参加回数が多い人ほど、「子どもの意思を尊重」と回答。

問15 あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区にある物件を避けることがありますか。(〇は1つだけ)

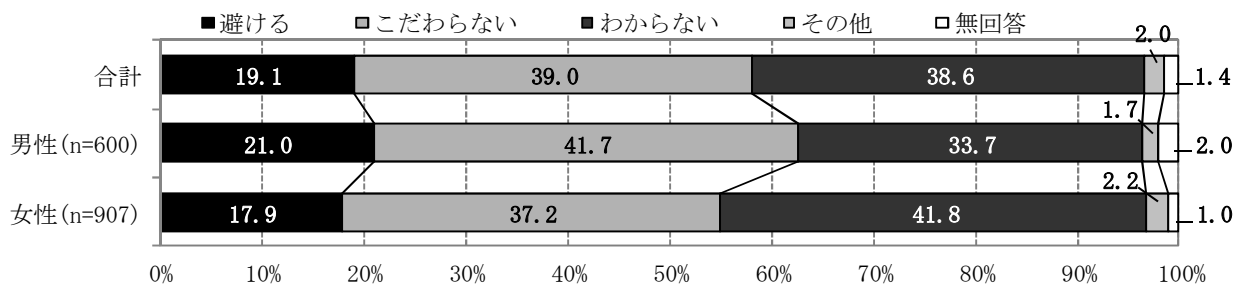


■同和地区の物件に対する忌避意識（避けようとする意識）について、18.8%が「避ける」と回答した一方で、逆に「こだわらない」と回答した人は38.6%にとどまっており、県民の同和地区に対する忌避意識が今なお残っていることがうかがえる。

※前回調査なし

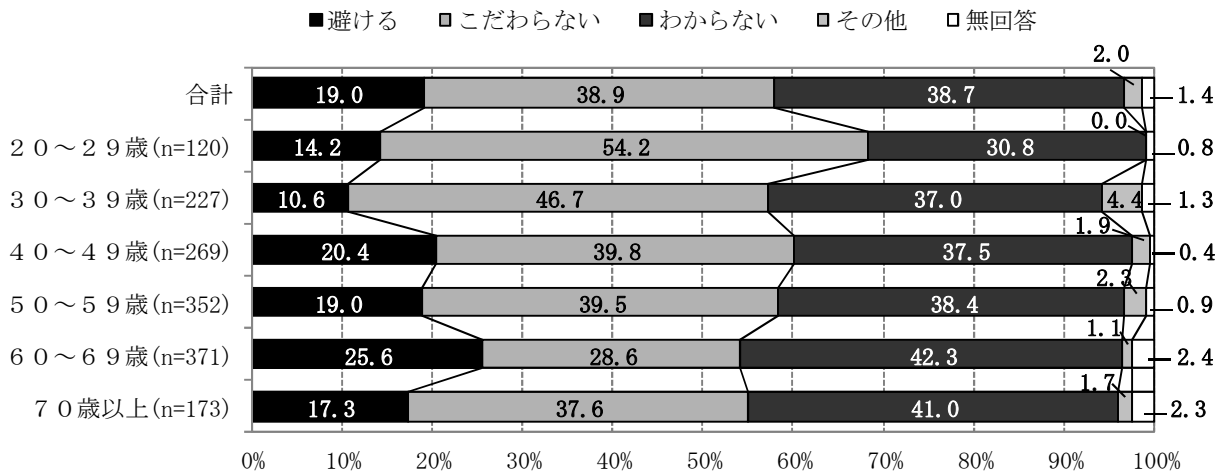
【性別・年齢との関係】

[図 15-1] 問 15-① 同和地区における住宅 と 性別 の関係



性別で見ると、「避ける」(男性 21.0%、女性 17.9%)、「こだわらない」(男性 41.7%、女性 37.2%)、「わからない」(男性 33.7%、女性 41.8%)となっている。

[図 15-2] 問 15-① 同和地区における住宅 と 年齢 の関係

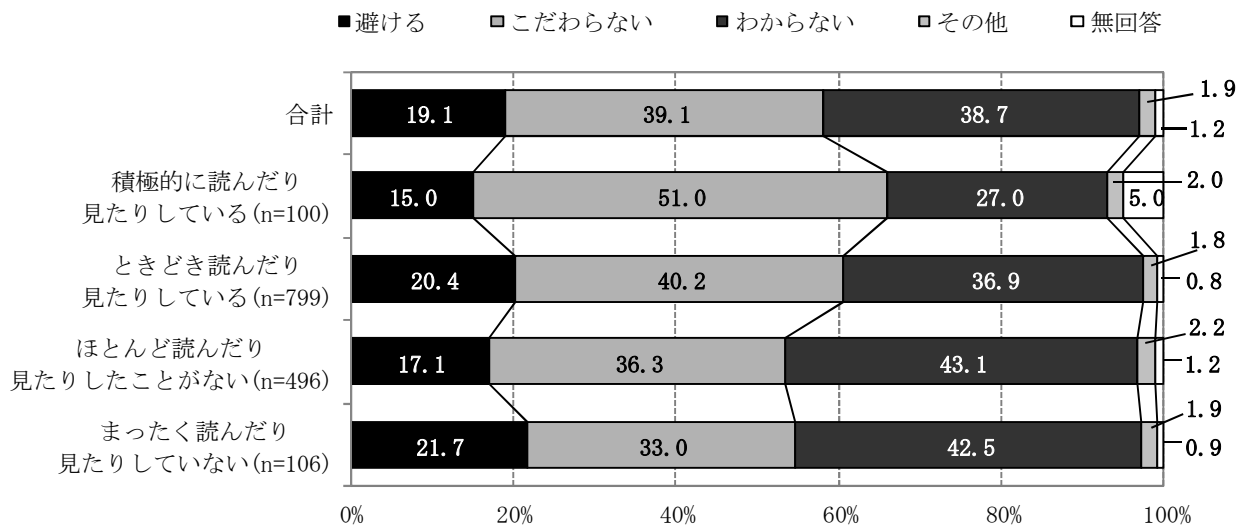


年齢別でみると、「避ける」と回答した人は、40歳代、60歳代で2割を超えている。逆に、「こだわらない」と回答した人は、20歳代では5割、30歳代では4割を超えている。

また、「わからない」と回答した人は20歳代（30.8%）、30歳代（37.0%）、40歳代（37.5%）、50歳代（38.4%）、60歳代（42.3%）、70歳以上（41.0%）となっている。

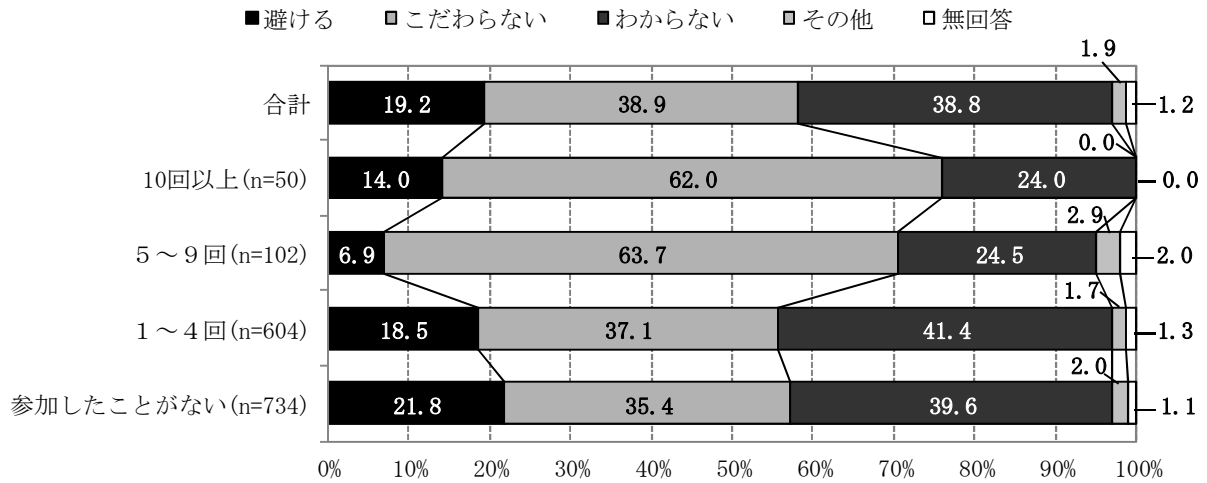
【他の設問との関係】

[図 15-3] 問 8-① 啓発物に触れた経験 と 問 15 同和地区における住宅 の関係



問 8-①（啓発物を読んだり見たりした経験があるか）との関係でみると、読んだり見ている人ほど、「こだわらない」という回答の割合が高い。

[図 15-4] 問 9-① 研修会等への参加回数 と 問 15 同和地区における住宅 の関係



問 9-①（研修会等への参加回数）との関係で見ると、参加回数が「5～9回」「10回以上」の人は、6割以上が「こだわらない」と回答している。